【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【公開番号】特開2000-243915(P2000-243915A)
【公開日】平成12年9月8日(2000.9.8)
【出願番号】特願平11-46129
【国際特許分類第７版】
　ＨＯ１Ｌ　27/04
　ＨＯ１Ｌ　21/822
　ＧＯ５Ｆ　 3/30
【ＦＩ】
　ＨＯ１Ｌ　27/04　　Ｂ
　ＧＯ５Ｆ　 3/30

【手続補正書】
【提出日】平成16年5月31日(2004.5.31)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項３】
前記出力端子と前記電源の高電位側の間に前記第１のＰＮ接合群と直列に第１の抵抗が接続され、前記出力端子と前記電源の低電位側の間に前記第２のＰＮ接合群と直列に第２の抵抗が設けられ、前記第１のＰＮ接合群に第１のスイッチ素子が並列接続され、前記第２のＰＮ接合群に前記第１のスイッチ素子と同期開閉する第２のスイッチ素子が並列接続され、該第１及び第２のスイッチ素子が開いたときに前記第１のＰＮ接合群と前記第１の抵抗に掛かる電圧の合計値と前記第２のＰＮ接合群と前記第２の抵抗に掛かる電圧の合計値の比と、前記第１及び第２のスイッチ素子が閉じたときに前記第１及び第２の抵抗のそれぞれに掛かる電圧の比とが等しいことを特徴とする請求項１に記載の基準電圧回路。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
　また、第２の発明に係る基準電圧回路は、前記第１の発明に係る基準電圧回路において、前記第１のＰＮ接合群に第１の抵抗及び該第１の抵抗に直列接続された第１のスイッチ素子が並列接続され、前記第２のＰＮ接合群に第２の抵抗及び該第２の抵抗に直列接続された第２のスイッチ素子並びにキャパシタがそれぞれ並列接続され、前記第１のスイッチ素子と前記第２のスイッチ素子は同期開閉し、前記第１及び第２のＰＮ接合群のそれぞれに掛かる電圧の比と、前記第１及び第２のスイッチ素子が閉じたときに前記第１及び第２の抵抗のそれぞれに掛かる電圧の比が等しいことを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】

また、第３の発明に係る基準電圧回路は、前記第１の発明に係る基準電圧回路において、前記出力端子と前記電源の高電位側の間に前記第１のＰＮ接合群と直列に第１の抵抗が接続され、前記出力端子と前記電源の低電位側の間に前記第２のＰＮ接合群と直列に第２の抵抗が設けられ、前記第１のＰＮ接合群に第１のスイッチ素子が並列接続され、前記第２のＰＮ接合群に前記第１のスイッチ素子と同期開閉する第２のスイッチ素子が並列接続され、該第１及び第２のスイッチ素子が開いたときに前記第１のＰＮ接合群と前記第１の抵抗に掛かる電圧の合計値と前記第２のＰＮ接合群と前記第２の抵抗に掛かる電圧の合計値の比と、前記第１及び第２のスイッチ素子が閉じたときに前記第１及び第２の抵抗のそれぞれに掛かる電圧の比とが等しいことを特徴とする。